

自然公園のあり方検討小委員会 国立公園現地視察概要

日時：平成 15 年 9 月 29 日（月）～平成 15 年 9 月 30 日（火）

視察地：雲仙天草国立公園（雲仙地域）及び西海国立公園（^{くじゅうくしま}九十九島地域）【長崎県】

参加委員：渡辺 修 委員（委員長） 熊谷 洋一委員
岩槻 邦夫委員 瀬田 信哉委員
大澤 雅彦委員 速水 亨 委員
栢原 英郎委員 和里田義雄委員
川名 英子委員 （以上 9 名）

視察の要点

- ・ 自然公園の代表的な山岳地（雲仙）及び海浜地（九十九島）の 2 タイプの公園における保護と利用の現状について視察。
- ・ 雲仙地域では、「雲仙地域総合整備基本計画（緑のダイヤモンド計画）」による新たな整備事例として平成新山^{へいせいしんざん}ネイチャーセンター、バリアフリー対応の園地施設や植生復元事業実施箇所など各種の保護及び利用施設を視察。
地域との協働により統一的な町並み整備が実施された先駆事例として、雲仙温泉を見学し、その効果等について地元代表者と意見交換。
- ・ 九十九島において、現在長崎県で計画中の「九十九島の島々新活性化計画」* について県より概要説明。自然体験型利用の拠点整備予定地である亀の子島を視察。計画策定にあたってパブリックインボルブメントにより地域住民の意見を取り入れた策定手法や 既存資源を活用した自然体験利用の促進とソフト整備方策について意見交換。

* 「九十九島の島々新活性化計画」：自然公園等事業の補助事業メニューの一つである「自然公園利用拠点新活性化事業」に対応する計画として長崎県が計画策定したもの。当該事業は、自然環境を保全するとともに、滞在型、バリアフリー対応型の公園利用を推進するため総合的に施設を整備し、地域の活性化を図ろうとするためのもの。

**自然公園あり方検討小委員会 国立公園現地視察
行程概要**

9月29日(月)

行程	内容
東京(羽田空港)発	
長崎(長崎空港)着	
(途中昼食)	(車中にて九州地区の自然保護業務及び雲仙天草国立公園の概要を事務局より説明)
垂木台地	平成新山ネイチャーセンターにて雲仙普賢岳をテーマとした博物展示施設を視察
宝原園地	ミヤマキリシマ群落の植生復元事業実施箇所及びバリアフリー対応の園路整備等について視察
仁田峠	山岳展望園地の現状について視察
雲仙温泉	雲仙温泉集団施設地区内(直轄園地、温泉の町並み等)及び原生沼(げんせいぬま)における湿地植生の復元事業地を視察し、町並みづくりの先進事例であった「雲仙プラン50」等について地元有識者と意見交換
宿舎 着	

9月30日(火)

行程	内容
宿舎 発	
弓張岳園地	九十九島の好展望地より、九十九島の島々活性化計画について長崎県より説明
(途中昼食)	
鹿子前集団施設地区	総合観光施設「西海パールシーリゾート」を視察。また、九十九島を船にて周回し、上記計画にて自然体験型利用推進拠点として整備予定箇所となっている亀の子島を視察
長崎(長崎空港) 発	
東京(羽田空港) 着	

自然公園のあり方検討小委員会 国立公園現地視察(2003.9/29～30) 写真

9/29



へいせいしんざん
平成新山ネイチャーセンターを見学



ほうばる
宝原園地を視察



にたとうげ
仁田峠にて普賢岳を望む



雲仙温泉にて街並みづくりの地
元有識者より説明を受ける

雲仙温泉の街並み



9/30

西海国立公園（九十九島地域）を視察



ゆみはりだけ
弓張岳展望台より九十九島を望む

活性化計画について長崎県が説明



西海パールシーリゾートより
業務概要の説明



亀の子島の現状を視察

整備計画について長崎県より説明

陸から架けられた橋上より
亀の子島を全体を眺める

